

(二)

次に労働争議を産業別に分析して見ると、(第二、三、四表)大阪府にあつては、機械器具製造工業が最も多く染織、化学、運輸が之に續いて居り、兵庫縣にあつては、之亦機械器具製造工業が首位を占めて、化学、運輸の順となり、京都府にあつては紡織工業が最も多く、それに次いで機械器具製造工業が多い。そして時局産業たる機械器具製造工業と化学工業における争議件数を合計すると、大阪府は總件数四七件中二八件、兵庫縣は二八件中一九件、京都府は一〇件中三件を占めてゐる。このことは時局産業に問題の數多く潜在してゐることを表徴してゐる。尙参考のために大阪府、兵庫縣及び京都府における機械器具製造工業、化学工業、染織工業にして労働争議の發生せるものうち主なる會社名を記せば次の如くである大阪府

共立電氣製鋼株式會社 三國工場 (一二八名)